

市民の地域づくり活動に対する意識を高め、市民協働の理念を浸透させるイベントとして毎年開催されている「まちづくりフェスティバル」は、11月23日、郡上市役所大和庁舎防災研修室で開催されました。120人を超す参加者が用意された発表を聞くだけでなく、市民団体やまちづくりのアイデアを提案した中高生に対して、活発に質問したり具体的なアドバイスを送ったりするなど、予定時刻を過ぎても終わらないほど熱い会になりました。

第10回まちづくりフェスティバルを開催しました!!



前年度までのGood郡上プロジェクトに関わる活動発表

※ Good 郡上プロジェクトは、市内の中学生・高校生が地域の課題を見つけ、その解決策を提案する市民協働センターの事業です。優秀提案を実現するためのコーディネートも行っています。

ハローワーク岐阜八幡 有井弥生さん 「郡上を救え～活性化大作戦～」

提案の内容は

平成25年度提案一郡上高等学校 <粥川萌美さん、松平沙英さん>

郡上の伝統文化や素晴らしい景色をこれからも守りつなげていくためには人口減少を食い止めなければいけないという思いをもち、郡上で就職する人を増やしたいと考えた提案です。提案者自身が毎日チェックする郡上ケーブルテレビで、地元企業の業務内容や、外からはなかなか知ることのできない会社の雰囲気などを紹介する番組を作ります。そして、それを学生が視聴して企業の詳しい情報を探ることによって、郡上で働きたいと考える人が増え、よりよい企業と学生のマッチング、つまり、「企業と学生によるプロポーズ大作戦」が実現して、郡上市の活性化につながると考えたのです。



実現して

郡上市雇用対策協議会の協力で、郡上ケーブルテレビの「キラリと輝く郡上の企業」という企業紹介番組になりました。平成26年に始まった1日3回、約15分の番組は現在も続いている、制作中も含めると、これまでに18社を取り上げました。今後も継続して制作する予定です。完成した番組は2週間ほど放映され、その後、帰省する人が多いお盆や年末年始等にも流れています。郡上市雇用対策協議会のホームページにもビデオが掲載されていますので、ぜひご覧ください。



「キラリと輝く郡上の企業」提案者

松平沙英さん 粥川萌美さん

市民活動団体パネル展示とプレゼンテーション

会場に8つの市民団体のパネルが並び、会場の雰囲気を盛り上げました。当日のプレゼンテーションには6団体が参加し、まずは1分間で活動をアピールしました。その後、参加者は自由に展示ブースを巡りながら、質問や意見交換を行いました。みなさんの展示を見つめる熱い視線や、時間いっぱいまで活発にディスカッションする姿が印象的でした。

西和良まちづくり協議会

西和良地区の自治力を高め、住みよい地域を作っていくことを目的として設立された団体です。閉校する西和良小学校の活用方法に関する取り組みや「ミニデイサービスセンター事業」について説明されました。



和良おこし協議会

「T型集落点検」を活用し、ふるさと和良町の集落の存続を目指した地域づくりを目標にして活動する団体です。移住促進や和良鮎のブランド化と周知、田んぼオーナー制度による食と文化の交流などの事業をアピールされました。



NPO法人 メタセコイアの森の仲間たち

環境に関する体験学習を必要とする人々や教育団体に、感動的で品質の高い環境教育に関する事業を提供し、自然体験を通して地域づくりを行う団体です。こどもキャンプやイラスト田んぼの活動についてお話をされました。



※ 今回は展示のみの参加でした。 ※

NPO法人 HUB GUJO

持続可能な地域社会を実現するため、ICT クリエーターの起業支援、アプリ(モノ)開発拠点運営、イベント企画運営等の事業を通して、世界へ新しい価値を発信する人を支援する団体です。

NPO法人 やすらぎの里いとしろ

石徹白地域の住民と自然とやすらぎを求めて訪れる人々を対象に、地域の歴史と文化の良さを後世に引き継げるよう、伝承活動と交流に関する事業を行う団体です。今回は、石徹白サロンカーについてアピールされました。



NPO法人 子ラボハウスキキの家



乳幼児期から学齢期、就労へと途切れかない支援をめざして、学童の放課後預かりや子育て中の母親への相談等、子ども達の健全育成と安心した子育てに関する事業を行う団体です。主にリトルキキの活動について説明されました。

NPO法人 ふる里めいほう

生活の利便性向上や福祉の増進につながる活動、新しいまちづくりを目指した創造的な活動を通して、明宝地域の住民が元気になることをお手伝いする団体です。福祉移送サービス、支え合い事業、放課後児童クラブ、公共施設管理の4つの事業について説明されました。



NPO法人 つくしの家

障がい者一人ひとりが、どんなに重い障がいがあっても個性を生かし、社会の一員として自立できる力を高めるために、社会参加および地域生活支援に関する各種事業を行っている団体です。

Good郡上プロジェクト入賞提案

今年度の応募総数は118提案、市内の中学校6校、高等学校2校から、428人の参加がありました。

中学生による地元の魅力の取材、発信PV、番組づくり

明宝中学校 <伊佐地浩輝、奥村聖、柿原満莉、清水雅登、下川結衣、末武拓海、高田洋人、玉木竜太郎
林さくら、原柚稀、桃原愛斗、山口詩乃、和田明花>



地元の人や中学生が、地域の魅力や自分たちの持っている良さに気付いていないことを課題ととらえ、中学生と観光協会、ケーブルテレビが一緒になって、地域の魅力を発信する動画や取材番組を制作する解決策を提案しました。中学生が地域の魅力を再発見し、郷土愛が深まることを期待した企画です。自分たちで調べ、企画し、発信するまでを具体的に示しており、現実的で、すぐにも実現化に取り組める提案であることが評価されました。

農業でつながる若者と高齢者の絆Project

郡上北高等学校 <大西魁、山本楓己、青木みか、松井一真>

郡上市から出て行く人が多く、一人暮らしの高齢者や空き地となっている田んぼ(休耕田)の増加につながっていることを課題ととらえ、解決策として、空いた田んぼや畠を活用して高齢者と高校生・中学生・小学生が一緒に農業を行う事業を提案しました。若者と高齢者が積極的に関わることで、郡上市の活性化につながると考えたのです。空き農地活用に目を向けたこと、子どもから高齢者までの絆づくりを大切にしていることが、郡上市の課題をしっかり見据えた提案であると評価されました。



郡上映えツアー～あー、郡上に生まれてよかった～

高鷲中学校 <小椋もも華、小椋なな佳>



郡上に住む学生の多くが郡上の魅力を十分に知らないため、市外に出るより戻ってくる人が少ないと、また、市外の人が来たくなるようなアピールができないことを課題ととらえ、市内の中学生対象バスツアーを提案しました。長期休みに希望者を募り、毎年一地区を取り上げ、担当地区の生徒会執行部と地域講師の方がガイドして、7年間で市内全地区を回るというツアーです。郡上の未来を担う世代である中学生を対象とした提案で、体験を伴った地域学習に目を向けて郷土理解を図ろうとしていることが評価されました。

環境に優しいベロタクシー

八幡西中学校 <中邑優介、武藤快太、東山未奈、平山舞奈、松本萌愛>

八幡町内には、まめバス・自主運行バスなど、様々な公共交通があるのに利用者が少ないと、道が狭く駐車場が少ないため、交通障害や渋滞や路上駐車が増えることを課題ととらえ、3人乗りの自転車によるベロタクシー(ベロはラテン語で自転車)の観光利用での運行を提案しました。コンパクトで道が狭くても安全に走行できることや、車体をラッピングして八幡町をアピールできることを利点としてあげています。八幡中心市街地に目を向け、観光客の移動の利便性を考慮しており、提案内容が具体的で、実現の可能性を感じさせることが評価されました。



浴衣でHE!!Ah!!

八幡西中学校 <畠佐健太、村瀬拓憲、小鎗乃愛、野田百華>



郡上市を訪れる観光客の滞在時間が短く手ぶらの人が多いため浴衣で郡上おどりに参加できること、市内に現在約400軒の空き家があり、年に11軒ずつ増えていることを課題ととらえ、空き家を利用して作る夏限定の商業施設を提案しました。浴衣の販売・レンタルと着付け、小物の手作り体験、特産品を生かした食べ物の販売などの事業を例としてあげています。浴衣のリユースなど、地域で調達できる資源に着目した提案で、郡上市の課題となっている空き家の利活用に目を向け、内容が具体的であることが評価されました。

入賞提案具現化に向けての意見交換会から

提案実現への協力表明、具体的なアドバイス、熱い応援メッセージ等々、たくさんの言葉をいただきました。提案した中高生の表情には、自分たちのアイデアが形となる喜びが表っていました。意見交換会のメモの一部を掲載します。(枠中の番号は、①「実現への見通し」②「アドバイス」です)

中学生による地元の魅力の取材、 発信PV、番組づくり

①番組制作に関わる技術的なことや撮影・編集器機については郡上ケーブルテレビ、取材・撮影時の移動等にはNPO法人ふる里めいほうが協力できる。

②明宝の人が明宝を撮ることに意義がある。映像の歴史を作り、文化を受け継いでいくことになるからだ。また、地元の子が撮るので出演する人も楽に喋ってくれる。

環境に優しいベロタクシー

①実行委員会形式で、郡上交通、郡上タクシー、産業振興公社、人力車、観光協会などと協議していく。イベントで試験的にやってみる手もある。宅配もありではないか。

②公共交通の利用が少ない現状がベロタクシーによってどう改善されるかを検討することで取り組みが活発になる。八幡の道路は本当に狭いので実現すると良い。

農業でつながる 若者と高齢者の絆Project

①郡上北高校の地域産業コース(来年度)全員が関わり、郡上高校の農業系の学科との連携も考える。土地は、自治会に相談すれば借りられる可能性がある。

②農業と林業は郡上にとって重要な産業で、体験と実験、そして、楽しんでやることが必要である。自分たちができることを考えて、楽しいプロジェクトにして欲しい。

郡上映えツアー

~あー、郡上に生まれてよかったです~

①明宝中の提案と併せて、中学3年間で一回りできる形で進める。ツアーで取材したことを残したり伝えたりするのには、郡上ケーブルテレビに協力してもらえるだろう。②7年間で全地域を回ることに工夫が必要で、休みなどをを利用して、もっと短い期間で回れるようになると良い。他校の生徒会と連携して、プランニングする必要がある。



浴衣でHE!!Ah!!

①郡上高校総合農業学科群(来年度)で、苺やお茶のジェラートを作り協力できるようにしたい。八中の「ゆかたDAY」とのコラボなど、他校との連携も考えられる。

②空き家を貸してくれない問題は、市のバックアップをうけたりチームまちやに協力してもらったりすれば良い方向が見えてくる。通年利用できるアイデアを出す。

★ 提案具現化に向けての協力・支援表明、助言等ございましたら、ぜひ、協働センターまでご連絡下さい。

アンケートの記述からは、「一時間以上会場に留まり、熱心に活動されたみなさんの思いが伝わってきました。紙面の関係で、一部だけ紹介します。」とあります。何よりも、住民自治によるまちづくりの重要性を認識された「意見が多いことに感動しました。「郡上のことは、皆で考える」と、一部の人任せないことが郡上の活性化につながると思います」「高齢者、若者、空き家、就職、郡上の魅力、農業、これらをつないで、自分たちで何ができるかを考え、提案することが、今後につながると思いました」「若い人たちが郡上を考え盛り上げようとする姿が、すばらしい。地域づくりの参考にしたい」「こうした思ひが地域の活性化につながると信じています。」また、つづいて「エスティバルの内容の評価もいただきました。「それぞれの地域での活動紹介は、なかなか活動知る機会がない私(者)にとって大変ありがたい。交流時間も有意義だった。」「ブース形式のQ&Aや感想は効率的で良い」「ステージ発表を聞くスタイルではなく、各ブースが多くの方が意見を言つたり聞ける今回のスタイルはよかったです」「相互の交流を大切にされていて良い」一方的に聞くだけでなく、多くの人と交流することが求められているのでしょう。もちろん、課題もあります。「Google+郡上プロジェクトだけにしぼつたら? 盛りだくさん有りすぎて初めての印象はすでにない」「意見交換会でもっと団体を回れるようにできるとよかったです」「グループワーク的なことが苦手な人が多いので途中で帰ってしまう人がいた」「このような活動がもう十回も行われている事を初めて知りました」「来年は、一人でも多くの市民に参加していただきたいです。」「中高生の皆さん、真剣に考えていることが素晴らしいです。」「エステティバル自体に中学生が、自分たちの視点、価値観で参加していただけると良いのではないかと感じました。大人が逆に気付けるを得る、学ぶ、という場にならないかと思うのは手前味噌に過ぎるかもしませんが。」

発行日／2019年1月1日

発行

岐阜県郡上市大和町徳永585番地
郡上市役所大和庁舎1階

TEL:0575-88-2217
FAX:0575-88-2218
E-mail:kyodo-c@gujo-tv.ne.jp
月～金曜日 8:30～17:15
(祝日・年末年始を除く)



<https://www.gujo-siminkyodo.org/>

アンケートから

郡上の情報、
知りたいときはここへ!!



<http://gujo-event-calendar.com/events/month>

